

NPO 法人瀬戸内乳腺事業包括的支援機構 第8回定期総会 議事録

日時：平成27年6月13日（土）12：30～14：45

場所：岡山大学病院 地域医療人育成センターおかやま

MUSCAT CUBE 3階 MUSCAT HALL

正会員数：94名 出席者数：52名（内委任状16名）

出席者名簿を添付（資料1），総会は成立

1. 議長の選出

土井原理事長が議長に指名され全会一致で承認された。

2. 議事録署名人の選出

議長により川崎賢佑、岩本両氏が議事録署名人に指名され，全会一致で承認された。

3. 理事会報告

臨床試験における監査・モニタリング体制を整える予定です。

SBPからの学会報告・論文に関しては理事で確認させていただくこととなった。

4. 広報委員会からの事業報告ならびに事業計画

吉富委員長より広報委員会の活動実績，ならびに活動計画が報告された（資料4）。

5. 教育・研修委員会からの事業報告ならびに事業計画

佐川委員長より教育・研修委員会の活動実績，ならびに活動計画が報告された。

脳転移の診断と治療に関するアンケート調査への協力要請がなされた。結果は学会に報告する予定。

例年通り，総会での教育講演，PECOの実施が周知された。

10月24日にAutumn campを香川で開催予定。

第3回若手奨励賞として清藤先生の受賞が決まりました。

6. 乳癌登録委員会からの事業報告ならびに事業計画

小笠原委員長より乳癌登録委員会の活動実績，ならびに活動計画が報告された（資料5）。累積症例として乳癌登録症例2930例が登録されたことが報告された。

また集計データの積極的な活用に関して周知がなされた。

集計データを用いた学会報告予定が周知された。

今後はweb化の予定であることが報告された。

スライドを用い，乳がん登録の集計結果が報告された。

7. SWAN からの事業報告ならびに事業計画

原委員長より女医会の活動実績，ならびに活動計画が報告された（資料6）。

8. 学術委員会からの事業報告ならびに事業計画

紅林委員長より学術委員会の活動実績，ならびに活動計画が報告された（資料7）。

およそ2カ月に1編のペースで最新重要論文の要旨を，会員向けにホームページで公開しているとの報告があった。

第3回研究奨励賞に飛田氏が選定されたことが報告された。

今後の研究奨励賞の応募に関する喚起がなされた。

9. 乳癌検診委員会からの事業報告ならびに事業計画

ミッションを明確にし、ホームページに掲載した。

乳がん検診学会の集計委員会に協力した活動を行う予定。

来年には、マンモグラフィ講習会を予定している。

10. 定款の変更に関する議決事項

定款49条 事業年度の変更

変更前：この法人の事業年度は、毎年9月1日に始まり翌年8月31日に終わる。

変更後：この法人の事業年度は、毎年5月1日に始まり翌年4月30日に終わる。

上記のように事業年度を変更したいと、事務局より提案があった。

本定款の変更に関しては、全会一致で承認された。

11. 臨床試験委員会からの事業報告ならびに事業計画

大住委員長より現在進行中の臨床研究の進捗と今後の方針に関する報告があった。

臨床試験のモニタリングと監査の体制を整える予定であることが報告された。

引き続き、SBP-01（研究責任者：原氏），SBP-02（研究責任者：池田氏），SBP-03（研究責任者：平氏），SBP-04（研究責任者：枝園氏）SBP-05（研究責任者：大谷氏），より各研究の進捗と要点に関する報告と，会員からの質疑がなされた。

また新規臨床試験のプロトコールコンセプトが久保氏、高島氏から提示され，議論がなされた。

次期総会は、緊急の懸案事項のない限り、平成28年6月開催の予定とする。

文責 平 成人

以上、この議事録が正確であることを証します

平成 27 年 6 月 13 日

議長

議事録署名人

議事録署名人